

平成 20 年度当初予算 施策別概要

225 安心して使える県産材等の提供

(主担当部：環境森林部)

- 22501 県産材等の安定供給の推進 (環境森林部)
- 22502 林業・木材産業の担い手の育成(環境森林部)

< 施策の目的 >

(対象) 県産材等が

(意図) 安定的に供給され、県民の暮らしの中で積極的に利用されている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目(主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
県産材(スギ・ヒノキ丸太)の需給量	目標値	-	320 千 m ³	322 千 m ³	324 千 m ³
	実績値	319 千 m ³			
三重県内で生産されるスギ・ヒノキ丸太の製材所等における年間需要量(丸太の供給量)					
県の取組目標項目(副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
「三重の木」認証材の製材工場からの出荷量	目標値	-	7,000m ³	8,000m ³	10,000m ³
	実績値	5,137m ³	7,500m ³		

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 森林は「木を植え、育て、収穫し、また植える」緑の循環をとおして守り育てられ、林業は、山村地域を支える産業として重要な役割を担ってきましたが、木材価格の低下や木材需要の減少などにより、生産活動が停滞しています。また、木材の生産・加工・流通は、小規模かつ分散的であることから、品質や規格が明確な製品に対する需要への対応が十分にできていません。
- ・ さらに、他産業に比べ林業の収益性は低く、労働環境が厳しいことから林業従事者の減少及び高齢化が進むとともに新規就業者の定着率が低く、多くの事業体で経営基盤が脆弱であり、機械化や合理化が遅れています。

< 平成 20 年度 の取組方向 >

県産材の需要拡大をはかるため、生産から加工・流通におけるしくみづくりや、「三重の木」認証制度の定着に向けて取り組みます。

また、林業生産性の向上、低コスト化及び利用間伐を促進するため、林道・作業道などの基盤整備や高性能林業機械の導入を進めるとともに、複数の所有者からなる一定範囲の森林をひとまとめに管理する、いわゆる森林の団地化についてモデル的な取組を行います。

さらに、県産きのこ類の適正な品質・衛生管理を促進し、安全・安心なきのこ類の消費者への提供を進めます。

意欲ある林業事業体等の経営強化をはかるため、低利融資や経営指導を行います。

また、職場体験研修により新規就業者を確保するとともに、高度化・多様化する森林づくりへの要請に応えるため、技術研修を実施します。

<主な事業>

林道事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 6林道費)

予算額： 1,054,980千円 1,005,676千円

事業概要： 森林の適正な維持管理をはかるため、木材の持続的生産を重視する「生産林」を中心に効率的な森林施業ができるよう林道の開設を行うとともに、輸送力の向上と通行の安全の確保等をはかるため、既設林道の改良や舗装を実施します。

(20路線を整備予定)

間伐対策事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 5造林費)

予算額： 74,462千円 208,005千円

事業概要： 健全な森林を育成し、森林の公益的機能の発揮をはかるために必要な間伐を実施するとともに、間伐材の搬出に必要な作業道の整備や、高性能林業機械の導入を促進します。(間伐668ha、作業道6路線、高性能林業機械5台導入予定)

(重)「三重の木を使おう」推進事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2林業振興指導費)

予算額： 126,000千円 100,000千円

事業概要： 県産材の利用を促進するため、新たな木造住宅の建築モデル(「三重の木」モデルの家)の情報発信と「三重の木」モデルの家の建築を支援します。

(見学会開催数 30回、支援戸数 300戸予定)

(舞)森の恵みの価値向上事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2林業振興指導費)

予算額： 3,536千円 2,548千円

事業概要： 安全・安心な県産きのご類の生産量の確保と消費者への提供を進めるため、生産・流通現場での適正な品質・衛生管理を促進します。(研修会等開催 3回予定)

原木安定確保パイロット事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2林業振興指導費)

予算額： 6,700千円 5,019千円

事業概要： 原木の安定的、持続的な供給を確保するため、森林組合等が森林所有者に対し、施業実施に向けた積極的な提案を行い、高性能林業機械の活用で生産コストを抑える取組に支援します。

(集約化実施 4箇所実施予定)

(新)地域林業推進体制整備事業【基本事業名：22501 県産材等の安定供給の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2林業振興指導費)

予算額： - 千円 3,000千円

事業概要： 地域林業の活性化をはかるため、市町が主体となって進める小規模な森林を団地化する取組に支援することにより、施業の集約化をはかり、健全な林業経営のモデルを構築し、地域林業の適切な管理・経営を促進します。

(モデル団地設定 3箇所実施予定)

(重) 林業担い手育成確保対策事業【基本事業名：22502 林業・木材産業の担い手の育成】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 1 林業総務費)

予算額： 8,202千円 12,076千円

事業概要： 森林整備、木材生産を担う林業就業者の確保・育成をはかるため、従事者の技術習得研修や新規参入者の確保に向けた取組等を行います。

(林業作業士研修受講者 10名予定)